

当社を取り巻く環境(課題)

当社グループの事業活動

中期経営計画

2026年でのGOAL

■当社グループでは、様々な課題を解決するため、経営資源を活用しながらESGと関連付けた事業活動を推し進めています。

■当社グループでは、中期経営計画を着実に進め、2026年における目標の達成を目指しています。

### 新設住宅着工戸数の減少

国内人口の減少	少子高齢化
建築コスト上昇による需要抑制	金利先高観によるマインド低下
施工職人の減少	政府の支援策による需要下支え

### コストの増加

材料価格(原材料/副資材)	燃料費(電気代)
物流2024問題	為替リスク

### 労働環境 / 自然災害 / 情報インシデント

労働災害、事故発生リスク	技術労働者担い手不足
激化する自然災害	情報セキュリティインシデント

### 基本理念「木を活かし、よりよい暮らしを」

豊かな住まいづくりのための基盤

E  
環境

S  
社会

G  
ガバナンス

永大産業のものづくり	ターゲットとする市場					
<table border="1"> <tr> <td>住宅資材事業</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">木質ボード事業</td> </tr> <tr> <td>建材事業</td> </tr> <tr> <td>内装事業</td> </tr> <tr> <td>住設事業</td> </tr> </table>	住宅資材事業	木質ボード事業	建材事業	内装事業	住設事業	新築住宅市場 ストック市場 リノベーション 非住宅分野 高齢者向け施設 園舎・店舗 海外市場
住宅資材事業	木質ボード事業					
建材事業						
内装事業						
住設事業						
改善・改良 研究開発 → 製品企画 → 製造品質管理 → 販売 → アフターサービス ↓ 新たな製品開発のためのフィードバック						

### 経営資源 (2024年3月期連結)

<b>財務基盤</b> 株主資本 : 41,710百万円 長期借入金 : 20,309百万円	<b>生産体制</b> 設備投資額 : 1,857百万円 生産拠点 : 8カ所 (事業所3、連結子会社4、その他1)
<b>研究開発</b> 研究開発費 : 582百万円	<b>人的資源</b> 従業員数 : 1,432人

### EIDAI Advance Plan 2026

安定した経営基盤の構築と収益力の強化を図り、すべてのステークホルダーから信頼される企業へ

2024年度～2026年度

### 5つの基本方針に則した事業活動

- 安全についての取り組み**
  - 「安全と健康は全てに優先する」ことを全社に宣言
  - 安全教育の工夫、運用方法の定期的な見直し
  - 定期的な設備、作業環境のチェック
  - 外部コンサルタントによるリスクアセスメント
- お取引先様及びエンドユーザー様にご満足いただける製品品質とサービスの提供**
  - ISO9001 (QMS)に基づいた品質管理体制の徹底強化
  - 市場ニーズの把握と販売政策への展開
  - 二次元コードを利用した物流システムの活用
  - サプライチェーン全体の付加価値向上、取引企業様との共存共栄
- 住宅資材事業でのシェアアップと新設住宅着工戸数に依存しない事業構造への転換**
  - 「マーケットイン」を重視した製品開発
  - ホームページやSNSの積極的活用
  - 非住宅分野の開拓と拡販の推進
  - 省施工、短納期製品の充実
- 木質ボード事業の強化、拡大及び住宅資材事業との相乗効果の発揮**
  - ENボード株式会社の月間15,000トンの安定的な生産体制
  - 高品質の構造用、フローリング基材用PBのラインナップ
  - PBの新たな用途開発
- サステナブル経営の推進**
  - 事業を通じた循環型社会の実現
  - BCP、BCMの取り組み
  - 情報セキュリティの強化
  - 人財育成
  - 社内環境の整備

顧客満足度を高め より安全安心な 住まいづくりに貢献	3 12
「セーフケアプラス」製品群の 充実により、どの世代も安心して 暮らせる住空間を提案	11
海外での事業を発展させ 経営基盤を強化	11
国産材の積極的利用で 国内林業振興に寄与	15
ニューノーマルの時代において、 職場内のコミュニケーションの円滑化を 図りながら、時間、場所に限定されない 柔軟な働き方の運用継続	5 8
省施工型製品の開発、 普及やオンライン営業支援システム (EDnetプラス)の活用により、 労働力不足に対応	12
二次元コードを用いた新たな 管理システムと基幹倉庫を活用し、 生産～物流のトレーサビリティを強化	12
<b>ESGを切り口とした課題の解決</b>	
<b>(E)環境</b>	
〈資源循環〉 ・環境配慮型製品を生産し、循環型社会の構築に貢献 ・フローリング等へのPB利用率の拡大	
〈温室効果ガス(GHG)排出量削減〉 ・温室効果ガス(GHG)削減目標の設定と対策及び 実績管理(SBT認証) ・再生可能エネルギーの創出	
<b>(S)社会・(G)ガバナンス</b>	
〈BCP・BCM〉 ・適切な調達先の選定と安定したサプライチェーンの構築 ・生産体制の最適化、生産・物流システム機能強化	
〈情報セキュリティ〉 ・重大な情報セキュリティインシデントの未然防止 ・社内におけるデジタル人材の育成強化	
〈人材育成〉 ・自動化や作業負担軽減等による生産性の改善と プロ意識と専門性を持った人材育成 ・商品開発に関する知見を持った人材の積極的な採用、育成	
〈社内環境整備〉 ・無事故無災害 ・コンプライアンスの徹底とガバナンスの強化	